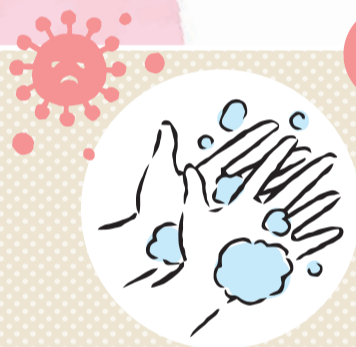




サイトメガロウイルス 母子感染に 注意しましょう

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルスに感染すると、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくる可能性があります。今のところ、感染を防ぐためのワクチンはありません。

ですから、お母さんが妊娠中に感染しないことがとても大切です。



「妊娠中」に感染しないために！

手洗いなどの日常生活のちょっとした気配りによって感染のリスクを $\frac{1}{5}$ ～ $\frac{1}{10}$ まで減らすことができます。

「サイトメガロウイルス」ってなに？

サイトメガロウイルスは、世界中のいたるところにいる、ありふれたウイルスです。ウイルスが含まれる母乳・唾液・尿・血液を介して、主に子どものうちに感染します。感染したときの症状はほとんどないか、風邪症状にとどまることが多く、サイトメガロウイルス感染と気づくことはまずありません。健康な子どもや大人が感染しても全く問題ないのですが、妊婦さんが感染した場合、赤ちゃんにまで感染がおよぶことがあります。国内で生まれる赤ちゃんのおよそ300人に1人がサイトメガロウイルスの感染をうけて生まれています。



サイトメガロウイルス粒子(電子顕微鏡写真)

詳しい内容についてはホームページをご覧ください

<http://cmvtoxoxo.umin.jp/>

「母子感染のリスク評価と先天性感染の新たな診断・予防法の開発研究」班では、上記ウェブサイトにてサイトメガロウイルス感染に関する情報提供を行っています。

